

## 中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	6 頁 資料K3-1 大 学教育改革の支援 プログラム採択状 況 先導的 I T スペシ ャリスト育成推進 プログラム	<u>OJT</u> による最先端技術適応能力を持 つ I T 人材育成拠点の形成	<u>OJL</u> による最先端技術適応能力を持 つ I T 人材育成拠点の形成
2	67 頁 資料K62-1 資料	赤崎記念研究館	赤崎記念研究館

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	3-3 I 教育学部の教育 目的と特徴 [想定する関係者 とその期待] 1行目	教育学部の直接の <u>関係は</u> 、・・・。	教育学部の直接の <u>関係者は</u> 、・・・。
2	3-3 I 教育学部の教育 目的と特徴 [想定する関係者 とその期待] 3行目	・・・それらの問題解決に論理的・実証 的に <u>取り組み</u> ことのできる・・・。	・・・それらの問題解決に論理的・実証 的に <u>取り組む</u> ことのできる・・・。
3	3-10 観点2-2 資料II-2-2 平成16年度	静岡県立 <u>磐田高校</u>	静岡県立 <u>磐田南高校</u>
4	3-12 観点3-2 (観点到に係る状 況) 7行目	・・・、成績評価の方法と <u>規準</u> も明記さ れている・・・。	・・・、成績評価の方法と <u>基準</u> も明記さ れている・・・。
5	3-13 観点4-1 (観点到に係る状 況) 4行目	・・・。各授業の成績評価はシラバス に明記された <u>規準</u> ・方法にもとづいて 厳正に行われており、・・・。	・・・。各授業の成績評価はシラバス に明記された <u>基準</u> ・方法にもとづいて 厳正に行われており、・・・。

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	4-6 観点1-2 資料	資料 I - <u>1</u> - 1 学生代表との協議会で提出された要望書	資料 I - <u>2</u> - 1 学生代表との協議会で提出された要望書
2	4-15 観点3-2 (観点到係る状況) 5行目	・・・、成績評価の方法と <u>規</u> 準も明記するようにしている・・・。	・・・、成績評価の方法と <u>基</u> 準も明記するようにしている・・・。
3	4-18 観点4-2 (観点到係る状況) 2行目	・・・、当該年度の修了生 <u>54</u> を対象とした教育成果調査で確認している。	・・・、当該年度の修了生 <u>54</u> 名を対象とした教育成果調査で確認している。

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	5-6 観点2-1 (観点に係る状況) 10行目	・・・、段階的・体系的学修の重要性・必要性及び計画的な履修方法について説明している（資料Ⅱ-B）。	・・・、段階的・体系的学修の重要性・必要性及び計画的な履修方法について説明している（別添資料Ⅱ-B）。
2	5-7 観点3-1 (観点に係る状況) 2行目	・・・、少人数による対話・討論方授業を実施している。	・・・、少人数による対話・討論型授業を実施している。

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	7-5 観点1-2 資料I-2-1 a)匿名ピアレビューシステム	・・・、匿名投票 <u>で</u> で相互に評価したり、 教官・専門家・学生がコメントを加えて 受講者の理解や <u>実技技能の 室</u> を高める システム。	・・・、匿名投票で相互に評価したり、 教官・専門家・学生がコメントを加えて 受講者の理解や <u>実技技能の質</u> を高める システム。

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	9-11 観点4-1 （観点に係る状況） 9行目	・・・、また、 <u>標準就業年内</u> での課程博士取得率は20～40%台で推移しているが、・・・。	・・・、また、 <u>標準修業年限内</u> での課程博士取得率は20～40%台で推移しているが、・・・。
2	9-11 観点4-1 資料IV-1-4	<u>標準就業年内</u> での学位取得者数	<u>標準修業年限内</u> での学位取得者数
3	9-11 観点4-1 資料IV-1-4	<u>標準就業年内</u> での学位取得率	<u>標準修業年限内</u> での学位取得率

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	10-14 観点3-2 (観点に係る状況) 13行目	……。また、試験時のアンケートを <u>下</u> に、……。	……。また、試験時のアンケートを <u>基</u> に、……。

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	12-11 観点3-2 資料Ⅲ-2-2	化学のCOE、GCO英語教育に関する資料	化学のCOE、G-COE英語教育に関する資料

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	13-4 観点1-1 （観点に係る状況） 13行目	…、学部教育の <u>一躍</u> を担っている…。	…、学部教育の <u>一翼</u> を担っている…。
2	13-12 観点4-1 （観点に係る状況） 1行目	医学部では、学生が <u>身に着けた</u> 学力や資質、…。	医学部では、学生が <u>身に付けた</u> 学力や資質、…。
3	13-13 観点4-1 資料（医）IV-1-1	<u>受検者数</u>	<u>受験者数</u>
4	13-13 観点4-1 資料（医）IV-1-1 平成17年度合格率	<u>94.4</u>	<u>97.2</u>
5	13-17 観点5-1 （観点に係る状況） 6行目	・保健学科でも国家試験合格率は、 <u>高率であり</u> （90～100%）である。	・保健学科でも国家試験合格率は、 <u>高率</u> （90～100%）である。
6	13-20 Ⅲ質の向上度の判断 ②	…、学部教育の <u>一躍</u> を担っている…。	…、学部教育の <u>一翼</u> を担っている…。
7	13-20 Ⅲ質の向上度の判断 ④	事例 <u>3</u> 「学生による専門系科目授業アンケートの本格実施」（分析項目Ⅲ）	事例 <u>4</u> 「学生による専門系科目授業アンケートの本格実施」（分析項目Ⅲ）

	ページ・行数等	誤	正
8	13-20 Ⅲ質の向上度の判断 ⑤	事例 <u>4</u> 「保健学科全教員によるFDの開催」 (分析項目Ⅱ)	事例 <u>5</u> 「保健学科全教員によるFDの開催」 (分析項目Ⅱ)

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	14-11 観点4-1 (観点に係る状況) 4行目	・・・特に顕著な業績を上げた学生は4年未満の <u>短期終了</u> を促しており、毎年十数名の <u>短期修了者</u> を出している・・・。	・・・特に顕著な業績を上げた学生は4年未満の <u>短縮修了</u> を促しており、毎年十数名の <u>短縮修了者</u> を出している・・・。
2	14-18 Ⅲ質の向上度の判断 ②	事例4「医学特論」(分析項目Ⅱ)	事例2「医学特論」(分析項目Ⅱ)
3	14-18 Ⅲ質の向上度の判断 ③	事例2「CNSコースとトータルヘルスプランナー養成コース」(分析項目Ⅱ)	事例3「CNSコースとトータルヘルスプランナー養成コース」(分析項目Ⅱ)
4	14-18 Ⅲ質の向上度の判断 ④	事例3「21世紀COEプログラム：神経疾患・腫瘍の統合分子医学の拠点形成」(分析項目Ⅲ)	事例4「21世紀COEプログラム：神経疾患・腫瘍の統合分子医学の拠点形成」(分析項目Ⅲ)

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	15-9 観点4-1 （観点到係る状 況） 9行目	・・・、 <u>標準就業年限</u> である4年間で卒業している割合は、・・・。	・・・、 <u>標準修業年限</u> である4年間で卒業している割合は、・・・。

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	16-5 観点1-2 （観点到係る状況） 16・18行目	・・・創成教育「 <u>高度総合工学実験</u> 」に加え、・・・これにより産業社会の <u>養成</u> に依える高度人材育成が可能となった。	・・・創成教育「 <u>高度総合工学創造実験</u> 」に加え、・・・これにより産業社会の <u>要請</u> に依える高度人材育成が可能となった。
2	16-8 分析項目II教育内容 （2）分析項目の水準及びその判断理由 （判断理由） 5行目	したがって、 <u>観点I-1</u> 、 <u>観点I-2</u> 共に期待される水準にあり、・・・。	したがって、 <u>観点2-1</u> 、 <u>観点2-2</u> 共に期待される水準にあり、・・・。
3	16-9 分析項目III教育方法 （2）分析項目の水準及びその判断理由 （判断理由） 5行目	したがって、 <u>観点I-1</u> 、 <u>観点I-2</u> 共に期待される水準にあり、・・・。	したがって、 <u>観点3-1</u> 、 <u>観点3-2</u> 共に期待される水準にあり、・・・。
4	16-11 分析項目IV学業の成果 （2）分析項目の水準及びその判断理由 （判断理由） 4行目	したがって、 <u>観点I-1</u> 、 <u>観点I-2</u> 共に期待される水準にあり、・・・。	したがって、 <u>観点4-1</u> 、 <u>観点4-2</u> 共に期待される水準にあり、・・・。

	頁数・行数等	誤	正
5	16-13 分析項目V進路・ 就職の状況 (2) 分析項目の 水準及びその判断 理由 (判断理由) 3行目	したがって、 <u>観点I-1</u> 、 <u>観点I-2</u> 共に 期待される水準にあり、・・・。	したがって、 <u>観点5-1</u> 、 <u>観点5-2</u> 共に 期待される水準にあり、・・・。

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	19-21 観点5-2 (観点に係る状況) 4行目	<u>職先等</u> の関係者への意見聴取は、・・・。	<u>就職先等</u> の関係者への意見聴取は、・・・。

## 学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	3-5、3-6 観点1-1 (観点に係る状況) (2)14・19行目、 5行目	2005年・・・ 奨学寄附金 <u>8,783,000</u>  2006年・・・ その他の補助金 <u>214,202,000</u> 受託研究事業費 <u>8,210,437</u>  2007年・・・ 合計 <u>225,011,000</u>	2005年・・・ 奨学寄附金 <u>5,783,000</u>  2006年・・・ その他の補助金 <u>214,220,000</u> 受託研究事業費 <u>8,210,000</u>  2007年・・・ 合計 <u>228,011,000</u>

## 学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	5-7 観点2-1 (観点に係る状況) 9・11・12・14・ 15・18~29・26行 目	<p>・・・AROB Contribution Award (業績番号 1002), 認識論における外在主義的な知識概念の分析に対する全く新しい観点からの批判に対する学会賞(業績番号 1005), 人間の洞察過程の飛躍を解明した学会賞 (業績番号 1003), 交通流の数理モデルによる解析と実証研究例(業績番号 1018) などがあり,・・・, 情報通信と数論との新たな接点を見出した研究 (研究業績1013), 蛋白質の構造変化を解明した研究 (業績番号 1015, 1016, 1017) も国際的に評価の高い学術誌に掲載され,・・・, 評価の高い学術啓発書 (発行部数 16,000 部) (業績番号 1006) や教科書 (業績番号 1007) により学生や市民の科学・技術リテラシー向上に貢献, また, 企業に有用な制度の開発と約 1000 事業所への普及 (業績番号 1004), 1~2 億円程度の売上をもった有用なアルゴリズムの工業製品化により企業の設計に利用 (業績番号 1014), 35,000 セットの販売実績をもつ脳障害検査キット (業績番号 1012) や社会的に有用な中高齢者向けソフトウェアの開発 (業績番号 1001) など,・・・, 昭和初期の政党政治 (業績番号 1008, 1009, 1010), 都市化と人口集中の著作 (業績番号 1011) も高い評価を得ており,・・・。</p>	<p>・・・AROB Contribution Award (業績番号 1002), 認識論における外在主義的な知識概念の分析に対する全く新しい観点からの批判に対する学会賞(業績番号 1005), 人間の洞察過程の飛躍を解明した学会賞 (業績番号 1003), 交通流の数理モデルによる解析と実証研究例(業績番号 1018) などがあり,・・・, 情報通信と数論との新たな接点を見出した研究 (研究業績1013), 蛋白質の構造変化を解明した研究 (業績番号 1015, 1016, 1017) も国際的に評価の高い学術誌に掲載され,・・・, 評価の高い学術啓発書 (発行部数 16,000 部) (業績番号 1006) や教科書 (業績番号 1007) により学生や市民の科学・技術リテラシー向上に貢献, また, 企業に有用な制度の開発と約 1000 事業所への普及 (業績番号 1004), 1~2 億円程度の売上をもった有用なアルゴリズムの工業製品化により企業の設計に利用 (業績番号 1014), 35,000 セットの販売実績をもつ脳障害検査キット (業績番号 1012) や社会的に有用な中高齢者向けソフトウェアの開発 (業績番号 1001) など,・・・, 昭和初期の政党政治 (業績番号 1008, 1009, 1010), 都市化と人口集中の著作 (業績番号 1011) も高い評価を得ており,・・・。</p>

## 学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	7-5 観点1-1 （観点に係る状 況） 18行目	8) ヤングリーダーズ <u>プロジェクト</u> (YLP)	8) ヤングリーダーズ <u>プログラム</u> (YLP)

## 学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	12-7 観点2-1 研究 成果の状況 17行目	ここには二つの学会賞を受賞した著書 (No. 1002)	ここには二つの学会賞（平成18年度に 「日本ドイツ学会奨励賞」、平成19年 度（授賞式は平成20年度）に「日本独 文学会賞」）を受賞した著書 (No. 1002)